

## 令和4年度 教員による授業自己評価

1. 実施月:令和5年3月

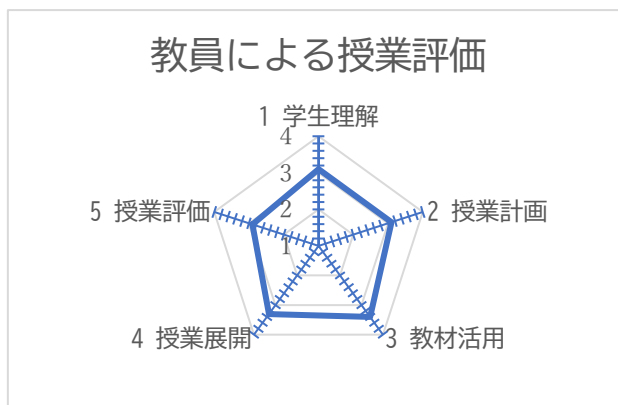
2. 実施対象者:11名

副校長	1
教務主任	1
実習調整者	1
専任教員	7
専任教員(臨時)	1
合計	11

3. 回答数:10名

4. 調査結果:4該当する 3どちらかといえば該当する 2あまり該当しない 1該当しない により評価

項目	平均評価	最大値	最小値
1 学生理解	3.1	4	1
2 授業計画	3.1	4	1
3 教材活用	3.4	4	2
4 授業展開	3.3	4	2
5 授業評価	2.9	4	1



5. 教員による学生評価・自己評価を踏まえた今後の課題と対策

- 講義時間が不足して十分講義できなかった科目があり。その科目に対しては他の科目と学習内容を調整する。
- コロナ禍で現場でのガイダンス等、充分出向けないまま、机上でのイメージを膨らますことに努力しているが、学生にとって魅力のある授業にすることが難しい。学生個々の能力差があるため、課題に要する所要時間も異なる。学生の自由度も勘案して、個々に対応していく。
- 初年度で授業を実施するだけで精一杯でした。振り返りながら修正し次年度に取り組みたいと思います
- 教員になったばかりの頃は色々な先生にアドバイスを頂けたが現在は自己流であり、効果的な授業ができていないのか不安になることがある。できれば学生の評価だけでなく、他の教員の評価も頂き、アドバイスをうけて今後の授業力アップに繋げて行きたい。「わかる・実践できる」授業するために、今後もセミナーや研修の積極的に参加し、授業がマンネリ化しないように努めたい。
- 学生が難しさや思いを伝えやすい関係性構築に心掛け、授業方法で指摘があればできるだけ早急に対処し改善する努力をしていく
- 形成的評価ができていないので評価を行い、授業方法を柔軟に変更していく
- 学生が自律して学習できるような講義、実習の工夫をすること。
- 診断的評価については、既習科目の確認のみに留まっている。バランスの良い評価となるよう、各評価方法を充実させていく。
- 教員として初年度であったため、zoom 対応や濃厚接触者になり欠席が多くなった学生への対応など慣れないことばかりであった。次からは学生にわかりやすいように授業をすすめていきたい。
- 初年度の反省および課題を改善するよう他者の指導を乞い、また、ルーブリックなど教本からも積極的に学び自己研鑽に努める。